



新年のごあいさつ

広野町議会議長 北郷 幹夫

令和5年の新春を迎え、議会を代表し、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。町民の皆様には、日頃より議会運営に対し、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

現在、感染力の高いオミクロン株により全国的に感染が拡大し、県内も感染流行「第8波」に入り、感染拡大に歯止めがかかっていない状況にありますので、町民一丸となって基本的な感染対策を徹底し、町内における蔓延を抑えなくてはなりません。

一方で、広野町文化交流施設（ひろの未来館）の開館、新型コロナウイルス感染症の影響で4年ぶりの「ひろの童謡まつり」の開催、市町村対抗県縦断駅伝大会で総合21位（52チーム出場）、町の部では過去最高の7位に入賞しました。駅構内や未来のかけ橋へのエレベーターが供用開始

され、駅利用者の利便性とバリアフリー化が図られました。議会といたしましては、議会改革の新たな取り組みとして「広野町議会基本条例」が制定されました。また、以前より議会定例会の録画映像をインターネットで配信していますので、広野町ホームページでは是非ご視聴ください。結びに、皆様にとりまして、本年が幸多き一年となり、更なる飛躍の年となりますよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。

12月定例会

こんなことが決まりました

令和4年第4回定例会を12月15日から16日までの会期で開きました。町長から町政全般についての経過報告が述べられるとともに、一般会計・特別会計補正予算を含む町から提出された11の議案を審議し、すべて原案のとおり可決しました。また、道の駅に関する調査特別委員会から最終報告があり、全会一致で承認しました。



令和5年の初日の出

条例案を可決

地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例

地方公務員法の一部改正に伴い、職員の定年年齢をはじめ、職員の給与、勤務時間、休暇等、さらには会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例等、所要の改正等が必要となる広野町条例について、一括して改正等を行うための条例の制定を可決しました。本条例の制定により、60歳だった職員の定年年齢は段階的に引き上げられ、最終的には65歳となります。

質疑 60歳を超えた職員の責任と権限は

小磯利雄 議員

地方公務員法等の一部改正に伴う定年延長により、60歳を超えた職員の職務上の責任と権限、役割はどのようなのですか。

林 総務課長

60歳を超えてからの職員の権限については、60歳になった次の年の3月31日をもって、管理職の職を終えて4月1日から降任となり給与は7割支給となります。これまで課長職だった職員については4級の総括主任査となると規定をしています。特例として、町としてその職員が管理職として必要な場合は、延長することも可能となっています。但し、延長の期間は3年を限度としています。

各会計の補正額

(1万円未満切捨て)

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計(第6号)	4億8674万円	74億5219万円
国民健康保険特別会計(第3号)	59万円	8億2611万円
土地開発事業特別会計(第2号)	275万円	5億9286万円
公共下水道事業特別会計(第3号)	346万円	2億2282万円
農業集落排水事業特別会計(第2号)	8万円	4315万円
介護保険特別会計(第3号)	191万円	6億5936万円
後期高齢者医療特別会計(第2号)	0万円	2053万円
合計	4億9555万円	98億1705万円
主な内容		
●財政調整基金積立金		4億2082万円
●農地中間管理事業(地域集積協力の増額)		580万円
●消防施設費(消防ホース格納箱撤去工事)		544万円
●学校給食共同調理場基本設計委託料		603万円